



菊武学園フラッシュニュース

学内合同企業説明会で就活に弾み

名古屋産業大学・名古屋経営短期大学では、2027年3月卒業予定の学生の就職活動が全国的に本格化する中、名古屋産業大学と名古屋経営短期大学は、5月20日に学内合同企業説明会を共同開催しました。当日は20社の企業・団体が出展し、各ブースでは業界の動向や企業の特徴、仕事内容などについて説明が行われ、学生たちは真剣な表情で説明に耳を傾けていました。

人材不足を背景とした学生優位の「売り手市場」により、採用活動の早期化・長期化が進む中、両校の今年度の就職支援方針「納得のいく職業選択をして納得のいく未来を獲得するために必要な支援」に基づき開催され、学生たちにとっては、企業研究・業界研究を実践的に進める貴重な機会となりました。また、企業担当者との対話を通じて、具体的なエントリーにつながるきっかけづくりの場にもなりました。

参加した学生からは「具体的な仕事内容を知ることができた」「就活に弾みがあった」などといった感想が聞かれました。説明会を運営したキャリア支援課では、今後も学生の主体的な進路選択を支援するため、実践的な就職支援施策を継続して実施することとしています。

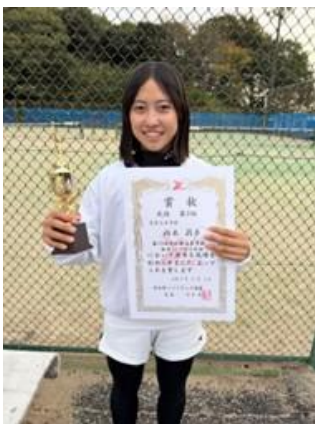


(学内合同企業説明会の様子)

女子ソフトテニス部 全国大会出場決定

菊華高等学校では、昨年11月1日に開催された「第79回愛知県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技秋季シングルス大会」に出場し、第3位という成績を収めることができました。この結果により、6月24日から27日まで北海道札幌市の円山庭球場で開催される「第55回ゴーセン杯争奪ハイスクールジャパンカップ」(公益財団法人日本ソフトテニス連盟、北海道ソフトテニス連盟主催)への出場が決定しました。全国大会への出場は今回が初めてとなり、女子シングルスは64人の出場枠となります。

全国大会出場を決めた選手は「愛知県代表として出場できることを大変嬉しく思うとともに、これまで支えてくださった先生方や仲間、家族への感謝の気持ちでいっぱいです。全国の強豪選手と対戦できる貴重な機会を大切に、普段の練習で培ってきた力を十分に発揮できるよう準備を進めています。初めての全国大会で緊張もありますが、一戦一戦を全力で戦い、少しでも良い結果を残せるよう頑張ります。応援よろしくお願いします」と笑顔で力強く話していました。



(賞状とトロフィーを手に笑顔で記念撮影)

様々な花材と触れあう

名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院では、フラワーデザイン科の授業では、生花以外の材料で装飾品を作成するという課題に取り組みました。花びらや花弁をラッピングシートでふんわり包み、数年前から写真映えすると人気の「ジャンボフラワー」を作りました。フラワーデザイン科では、お客様からのご依頼にもお応えできるよう、フローリストとしての提案力を磨いていきます。



また、季節限定の藤棚や初夏の花々に触れあうために、愛知県江南市の「曼陀羅寺公園」へ校外研修に行きました。広大な藤棚に11種類もの藤が咲き誇る様子は圧巻でした。

学生たちにとって良い刺激となり、貴重な経験となりました。今回の学びが、これからのフラワーデザイン、フローリスト技術・知識、フラワーショーなどに活かされることを期待しています。



(完成したジャンボフラワーを披露する学生)

オリエンテーションでクラスの絆深まる

菊武ビジネス専門学校では、5月1日、1年生にとって初めての行事となる、校外オリエンテーションを実施しました。愛知県知多郡の美浜町総合公園体育館でのレクリエーションを楽しんだ後は、南知多ビーチランドへ行き、バーベキューを楽しみ、ペンギンやイルカに触れて、その愛らしい姿に癒やされました。

班員と協力してレクリエーションをしたり、食事の準備や後片付けをしたりして、たくさん会話を重ねる中で、クラスの絆は一気に緊密になりました。新しい友人とのかけがえのない思い出もでき、これからの高校生活がますます楽しみになる、笑顔あふれる一日となりました。



(フォトスポットで記念撮影)

校外実習で姉妹校の生徒と再会

豊橋宮野ビジネス高等専修学校では、5月1日に三重県桑名市のナガシマスパーランドへ校外学習に行きました。当日の朝は雨が降っていましたが、昼ごろには雨が止んで天候が回復し、次第に晴れ間が広がる園内で、生徒たちは人気アトラクションに挑戦し、班行動を楽しみました。班行動では、事前に立てた計画をもとに各班が主体的に行動し、協調性や判断力を育む機会にもなりました。

この日、本校3年生は、2年生の3月に一緒に沖縄へ修学旅行に行った菊武ビジネス専門学校の3年生と再会し、声を掛け合ったり、近況を伝え合ったりする姿も見られました。

参加した生徒からは「雨がやんで本当に良かった。菊専の友達と久しぶりに話せてうれしかった」「絶叫マシンが怖かったけど、みんなで乗ったら楽しかった」といった声が寄せられ、思い出深い校外学習となりました。



(校外学習を終えて記念撮影)

こどもの日の集いを開催

菊武幼稚園では、大事にしている行事の一つ『こどもの日の集い』を4月30日に行いました。全園児が講堂に集まり、「こどもの日には、鯉のぼりや鎧、かぶとを飾ってお祝いする習慣がある」「こどもの日は、子どもの成長を祝う日であるとともに、母親に感謝する日でもある」というお話を聞きました。また、鯉のぼりの歌「やねよりたかい〜」を歌ったり、各クラス代表園児が自分の作った作品を披露したりしました。さらに、給食時にはPTAの方たちが提供して下さった「ちまき」をおいしそうに食べていました。園児たちは、今回の集いを通して、「こどもの日」にまつわる言葉を覚えたり、どのようなことをするのかを知ったりしたことが、園児自身の発達を促すことにつながったと思います。



(こどもの日の集いの様子)

年長児 婦人会の方と田植え体験

稲葉保育園では、5月26日に地域の方の田んぼをお借りして、地元の婦人会の方と一緒に年長児が田植えを体験しました。初めに担任から苗の持ち方や植え方の話を聞き、いざ田んぼの中へ入ると、子どもたちは初めての泥の感触に驚きながらも、一步一步慎重に進んでいました。足をとられ尻もちをついてしまう姿も見られましたが、「がんばる!」と気持ちを切り替え、婦人会の方にやさしく植え方を教えていただきながら、最後まで一生懸命に苗を植えていました。地域の方との温かな関わりの中で、貴重な体験をすることができました。秋の収穫を楽しみにしながら、これからもお米の成長を見守っていきたいと思います。

この様子は、5月27日付けの中日新聞朝刊なごや東版で紹介されました。



(婦人会の方と一緒に田植え体験)